

議会だより

笑顔のために



No.437

令和7年2月1日発行

表紙：富士宮高等専修学校作成

表紙説明は裏表紙をご覧ください

目次 CONTENTS

- 01 **表紙**
富士宮高等専修学校の生徒さん作成
- 02 **目次**
- 03 **議会だより広報活動**
富士特別支援学校富士宮分校生徒さんと
意見交換会を開催
- 04 **【特集】議員の活動**
議員の日頃の取組を確認してください！
- 06 **11月定例会の議決結果**
27件の議案について審議
- 07 **市立小・中学校給食費の無償化を求める請願**
趣旨採択、賛否分かれる！
- 08 **議会運営委員会／常任委員会**
総務文教委員会と産業都市委員会が市に提言！
- 11 **一般質問**
17人の議員が市政を問う
- 20 **表紙の説明／編集後記など**

議会だよりの編集と発行は、議会だより編集委員会が行っています。

委員長：中野健太郎

副委員長：仲亀恭平

委員：山藤陽子、稲葉晃司、
白井由紀子、村瀬旬



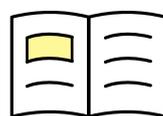
あなたの声をお待ちしています

議会での質疑や議会だよりの内容等について、ご意見お待ちしております。



議会をネットでみよう

本会議のインターネット映像（ライブ・録画）を配信しています。



議会だより電子版

富士宮市ホームページから、議会だより電子版（PDF版）を見ることができます。



LINE 友だち追加

市公式 LINE にて、議会に関する情報を発信しています。





▲オリエンテーション



▲生徒さんによる学校紹介

みやぶん × 編集委員会

「議会だより」についてご意見、伺いました！



▲議会だよりの率直な感想を伺いました

議会だより編集委員会は、12月発行号議会だよりの表紙を作成していただいた富士特別支援学校富士宮分校(宮分)を訪問し、議会だよりについて率直な感想を伺いました。生徒さんからは、

- ・文字が少なくし、その代わりにイラスト等を入れてほしい
- ・専門用語が多い
- ・難しい言葉が多いので、ふりがなを振ってほしい

など、たくさんのご意見をいただきました。今回は要望のあった「ふりがなを付けること」について、このページで採用させていただきます。

これからも、高校生をはじめ、市民の皆様のご意見をもとにわかりやすく親しみの持てる議会だよりを作成していきます。



▲参加者全員から意見をいただきました



▲楽しく意見を交わしました



▲議員の意見に耳を傾けてくれました



▲最後に全員で記念撮影！



▲生徒さんの本音をお伺いしました

▲生徒さんの真剣さが伝わりました

高校生の皆さんに親しみを持っていただくため、議員はお揃いのTシャツで参加しました

特集 私の本気～議員の活動～

富士宮市議会には、22人の議員がいます。
市民の皆様には、議会や議員を身近に感じていただくため、
各々の議員の活動の一部を紹介します。

近藤千鶴 議員

高齢者支援・農福連携

買物・病院付き添い支援、家事援助の活動。有休農地の解消に農福連携を結びつけた。



岩村恵美 議員

有機オーガニック推進

有機農家さんの生の声を調査！
学校給食や保育園での地元有機野菜活用を市に提案！



仲亀恭平 議員

ラインに届く ごみの日

「明日はごみの日？」
ゴミ出し忘れを防ぐ便利なサービスを提案。ぜひ、友だち追加を！



平下尚己 議員

見守りスポーツ認知症

平日子どもたちの見守り。スポーツ環境改善の提案。認知症カフェ23 / 24 か所参加！



赤池弘源 議員

緑を守り、育てる！

心も体も癒してくれる自然空間の大切さを伝えた！学校など身近な緑の適正管理を推進。



中野健太郎 議員

災害から市民を守る！

市民の生命財産を守るのが市議会議員の使命！有事で役に立たなければ議員の意味なし。



齋藤和文 議員

市民の再就職支援を！

議会質問では賃金アップや政労使会議、市民相談では常時再就職の相談を受けています。



山藤陽子 議員

大切な人を守る防災！

防災講座20回受講。命を守る防災を研鑽。乳幼児用防災リュックを提案、子育て講座で実施。



稲葉晃司 議員

S a y農!!

厳しい農業の実情を議会で取り上げ、農育教育と農福連携の実践と調査研究を行いました。



臼井由紀子 議員

同報無線の有効活用！

「子ども安全の日」や「突発的な交通渋滞」の周知に同報無線の活用を提案、実現した！



佐野和彦 議員

暑さ対策と給食無償化

市内各集会所へのエアコン設置要望。議長と共に静岡県市議会議長会への意見書提出。



小松快造 議員

将来の環境づくりを！

子どもたちが大人になった時、美しく住みやすい環境にするには今やらねば間に合わない。



辻村岳瑠 議員

介護人材確保について

課題：人材確保の予算のバランス。提案：市内高校を活用した介護人材の確保。



芦澤秀典 議員

公立教育施設の充実

学校施設を調査。安全で快適な教育環境の整備、特にトイレの改修の必要性を市に問う。



佐野寿夫 議員

福祉・環境に挑戦！

福祉避難所運営の再確認。防災道の駅の活用と除草機レンタル事業を提案！



望月芳将 議員

子どもの孤立化を防ぐ

孤立化を防ぐセミナーに参加。相談体制に、社会福祉士や保健師を加えることを提案。



渡辺佳正 議員

小中学生の不登校対策

すべての子どもに学びの場と居場所を保障する政策提言の策定に委員会の一員として参加



鈴木弘 議員

婚姻数向上に向けて

少子化対策として婚姻数向上が最大の対策と捉え、様々な出会いの場を紹介中！



植松健一 議員

高齢者の疑問に答える

高齢者の集会や会合、寄合い処に参加。市政についての疑問を判りやすく解説しました。



村瀬旬 議員

市立病院の助産師確保

市立病院看護師に助産師資格を取ってもらうため、休職し資格を取得し分娩の充実を図る。



諏訪部孝敏 議員

第60代議長に就任！

議員の協力で、議会の代表として中立かつ公平な職務の遂行に努め円満な議会運営に注力。



佐野和也 議員

住みやすい街に！

地域の集まりなどに積極的に参加し、リアルな声を聞いて行政に届けています。



11 月定例会 議案審議

| 議案番号 | 件 名 | 議決結果 |
|-----------|--|--------------|
| 議 第 73 号 | 富士宮市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例制定について | 原案可決 全会一致 |
| 議 第 74 号 | 富士宮市重度障害者医療費助成金支給条例の一部を改正する条例制定について | // |
| 議 第 75 号 | 富士宮市地域包括支援センターの人員に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について | // |
| 議 第 76 号 | 静岡地方税滞納整理機構規約の変更について | // |
| 議 第 77 号 | 富士宮市役所庁舎高圧受電設備更新工事請負契約の変更について | // |
| 議 第 78 号 | 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について | // |
| 議 第 79 号 | 市道路線の廃止について | // |
| 議 第 80 号 | 市道路線の認定について | // |
| 議 第 81 号 | 公の施設の指定管理者の指定について | // |
| 議 第 82 号 | 公の施設の指定管理者の指定について | // |
| 議 第 83 号 | 公の施設の指定管理者の指定について | // |
| 議 第 84 号 | 令和 6 年度富士宮市一般会計補正予算（第 6 号） | // |
| 議 第 85 号 | 令和 6 年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号） | // |
| 議 第 86 号 | 令和 6 年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号） | // |
| 議 第 87 号 | 令和 6 年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 号） | // |
| 議 第 88 号 | 令和 6 年度富士宮市水道事業会計補正予算（第 1 号） | // |
| 議 第 89 号 | 令和 6 年度富士宮市下水道事業会計補正予算（第 1 号） | // |
| 議 第 90 号 | 令和 6 年度富士宮市病院事業会計補正予算（第 2 号） | // |
| 議 第 91 号 | 令和 6 年度富士宮市一般会計補正予算（第 7 号） | // |
| 選 第 3 号 | 監査委員選任に関し同意を求めることについて | 同 意 |
| 選 第 4 号 | 教育委員会の委員任命に関し同意を求めることについて | // |
| 議 請 第 3 号 | 市立小・中学校給食費の無償化を求める請願 | 趣旨採択 賛成多数 |
| 陳 情 第 3 号 | 「教職員の人材確保及び学校の働き方改革に向けた教育施策の実現を求める意見書」の提出を求める陳情書 | 採 択 全会一致 |
| 議 選 第 4 号 | 富士宮市選挙管理委員会委員の選挙について | 決 定 |
| 議 選 第 5 号 | 富士宮市選挙管理委員会委員の補充員の選挙について | // |
| 議 決 第 4 号 | 富士宮市議会個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例制定について | 原案可決 全会一致 |
| 議 決 第 5 号 | 教職員の人材確保及び学校の働き方改革に向けた教育施策の実現を求める意見書の提出について | // |

※議=条例・予算・契約などの議案、選=人権擁護委員候補者以外の人事案件、議請=請願、陳情=陳情、議選=議会で行う選挙や人事案件、議決=議会からの議案 の略。

※議案番号は、令和 6 年 2 月定例会からの通し番号。

※詳しくは市議会事務局（電話22-1191）までお問い合わせください。

請願は趣旨採択



議請第3号 市立小・中学校給食費の無償化を求める請願

【請願内容の概略】 請願の最大のポイントは、富士宮市立小・中学校の全児童・生徒の給食費を無償とすること。また、その無償化の財源については、国による国費負担を要望し続ける一方、**市独自の財源**でいち早く行ってほしいとのことでした。

総務文教委員会

今回の請願の審査を担当したのは、富士宮市議会総務文教委員会です。総務文教委員会の共通認識としては、学校給食費の無償化には異論なく賛成するものでした。しかし市長会や市議会議長会を通して「国の責任において、全ての自治体が給食費無償化を実施できるように」働きかけていること。また、市の財源確保の見通しがはっきりしない中で、**大きな財政負担の生じる施策を市当局に求めること**については、議員により考え方が分かれました。採決を行った結果、市に対して財政的負担を強いることになるため採択はできないが、願意には賛成できる点もあるため、趣旨採択（※）すべきものと決定しました。この決定を12/6の本会議で諮り、富士宮市議会としての最終意思を決定します。

※趣旨採択とは…請願について願意は妥当であるが、実現性の面で確信が持てないような場合（財政的事情等）に、不採択とすることもできないとして採られる決定方法のこと。

12/6 本会議での討論 賛成討論は趣旨採択に賛成、反対討論はこの請願と趣旨採択に反対。

賛成討論

請願の“趣旨”に賛成。

趣旨採択に賛成 村瀬旬 議員

給食費の国負担については賛成です。但し、請願は全額市負担としており財政的に負担が大きいため賛成できません。全国市長会としても、国負担にせよと要望を出しており、今後も国に働きかけていただきたい。



市も一步を踏み出して 渡辺佳正 議員

子育て支援、食育の推進、食の安全確保などの観点から、学校給食費無償化が果たす役割は大きい。無償化を国の制度として求めると同時に、市独自の財源で一步を踏み出すことは当然である。



財源を生み出す工夫を 稲葉晃司 議員

財源があれば学校給食費無償化に対して、反対する理由はないと思う。我々議員は、市当局に提案提言することで無駄を無くすことにより無償化の財源を作り出すこともできるはずと考え、この請願は趣旨採択すべき。



反対討論

給食費無償化自体には賛成。しかし…

市民の声を継続審議へ 中野健太郎 議員

市独自の無償化実現に向けた予算捻出は増税にも関係します。市当局に大規模予算を投入する事業を求めるのであれば、市議会としても広く市民の声を聴き、課題を整理・精査するための継続審議をすべきと強く訴えます。



どんなに良い請願でも 佐野和也 議員

請願理由に「一部の貧困な人だけが無償なのは差別だ」などの行政の支援や援助を受けている市民に対しての差別的な発言や、学校教育と教職員を軽視する内容も多く、そのような請願理由ではとうてい賛同はできません。



市への財源負担反対 佐野寿夫 議員

無償化には賛成ですが、「請願趣旨及び理由」に記載の「市としてまず給食無償化を実現してください」と署名簿の訴えが願意と判断し、請願反対。また、本請願の本当の趣旨は市としての無償化のため趣旨採択も反対。



【賛否が分かれた議案】

○は賛成。×は反対。

| 議員名 (議席番号順) | 近藤千鶴 | 岩村恵美 | 仲亀恭平 | 平下尚己 | 赤池弘源 | 中野健太郎 | 齋藤和文 | 山藤陽子 | 稲葉晃司 | 臼井由紀子 | 佐野和彦 | 小松快造 | 辻村岳瑠 | 芦澤秀典 | 佐野寿夫 | 望月芳将 | 渡辺佳正 | 鈴木弘 | 植松健一 | 村瀬旬 | 諏訪部孝敏 | 佐野和也 | |
|---|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|-------|------|--|
| 議案・結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 議請第3号 市立小・中学校給食費の無償化を求める請願 (趣旨採択すべきか否かの賛否) | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | ○ | × | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※ | × | |

※議長は表決に加わりません

趣旨採択すべきが11人、趣旨採択すべきでないが10人となりました。

議会運営委員会

辻村岳瑠 委員長 コメント

令和6年12月6日の委員会で、議会閉会中も継続調査を要求することが決定されました。継続調査の内容は議会改革に関する先進地等の調査です。

茅ヶ崎市議会と三重県議会を訪問し、市議会による決算事業評価や議会活動計画について調査を行い、当議会をさらに機能性の高い議会運営への改革を目指し、実効性を高める議会運営を目指して参ります。

定例会終了後も調査を行い議会改革を進めて参ります。



環境厚生委員会

植松健一 委員長 コメント

所管事務調査として、生活環境課より4月から始まったプラスチックの分別収集状況についての説明を受けました。

回収されるプラスチックの量は、おおむね90トン前後で推移していました。

また政策課題の「プラスチックをはじめとするごみのリサイクルについて」では、令和7年2月定例会での政策提言に向けて提言項目について各委員から意見を出してもらい、さらに令和6年12月中に政策課題について委員会を行うことを決定しました。



▲資源化されるプラスチック

総務文教委員会

鈴木 弘 委員長 コメント

最初に市立小・中学校給食費の無償化を求める請願を審査し、趣旨採択とすべきものと決定しました。

次に「教職員の人材確保及び学校の働き方改革に向けた教育施策の実現を求める意見書」の提出を求める陳情書を審査し、全員異義なく採択すべきものと決定しました。

引き続き、公の施設の指定管理者の指定について、富士宮市民文化会館及び富士宮市大富士交流センターを審査し、全員異義なく可決すべきものと決定しました。

最後に政策課題である小中学校における不登校の実態と対応について協議し、提言書の文案の最終確認を行ない、全員異義なく認められました。

その後市長、教育長に提言書を提出しました。



政策提言

政策提言とは・・・

富士宮市議会常任委員会（総務文教委員会、環境厚生委員会、産業都市委員会）が各々設定した、解決すべき市政の課題について2年間協議検討した結果、市に提出する提言を政策提言と呼んでいます。

令和5年6月に「小中学校における不登校の実態と対応について」を政策課題として設定しました。

17回の委員会と2回の勉強会を重ね、令和6年11月定例会にて提言書をまとめました。

不登校支援に関する情報提供を充実させること

保護者が孤立化しないよう悩みを共有できる場をつくること

校内サポートルーム及び支援員の配置、教育支援センターのサテライト施設の設置、フリースクール等民間事業者との連携を深め、ICTも活用するなど居場所の充実を図り、多様な教育の場を確保すること

などとなりました。

こうした対策を行うことにより年々増える不登校生が減少することを期待します。

提言内容はこちらから
確認できます（QRコード）



市長宛



教育長宛



産業都市委員会

村瀬 旬 委員長 コメント

当委員会では所管事務調査として、「令和5・6年度富士宮市営万野住宅建設工事E棟工区について」及び「富士宮駅前広場等施設整備事業について」の現地調査を実施しました。

市営万野住宅E棟は、外構部分及び建物内部を視察し、富士宮駅前広場等施設整備事業は、新設されたエレベーターの状況等を確認しました。

また、付託されました富士宮市柚野の里活性化施設の指定管理の選定について審議を行い可決すべきものと決定しました。



▲市営万野住宅の現地調査



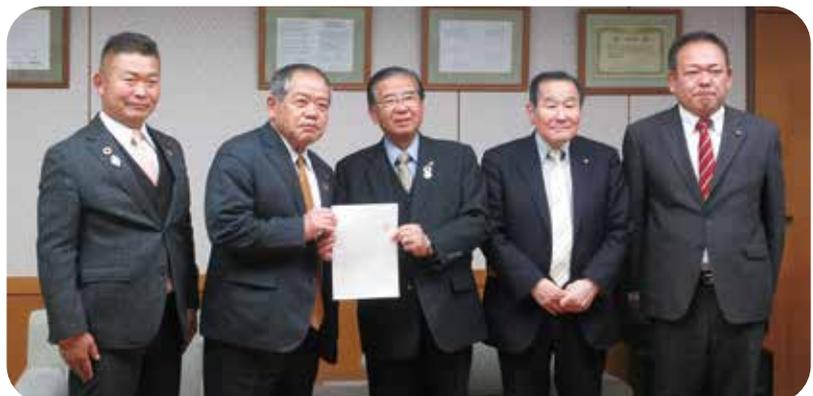
▲駅前広場の現地調査

政策提言

市への政策提言書内容（要約）

- 1 定期的な盛土パトロールの実施や関係団体との情報共有を行い緊密な協力体制を継続すること。
- 2 静岡県に対し富士土木事務所管内に1日も早くストックヤードを整備するよう働きかけをすること。
- 3 民間事業者が行うストックヤード及び残土処分場の利用状況等を把握し民間主導でのストックヤードや残土処分場ができるように支援する制度の検討をしていくこと。
- 4 市発注工事における建設発生土を抑制するための施策を推進すること。

提言内容はこちらから確認できます（QRコード）





うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)



コミュニティ・スクールについて

問 市内小中学校のコミュニティ・スクール化を進めようとしているが、それにより学校運営が大きく変わってくる。コミュニティ・スクールの必要性について。

教育長 学校が抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには社会総がかりでの教育の実現が不可欠。学校の目標やビジョンを地域住民と共有し、地域と保護者、学校とが一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことが重要。地域とともにある学校づくりに有効な手立ての一つだと考えている。

問 導入にあたって地域の理解を得ていくか。

教育長 学校運営協議会の趣旨や意義をしっかりと理解していただくことが第一歩。市や学校

ホームページへの掲載やPTA運営委員会や総会、学校だより等を活用して周知を進めている。

中学校部活動の地域移行について

問 小中学生のこどもやその保護者から不安の声を多く聞く。当市の考える地域移行とは。

教育長 令和5年度より設置した部活動のあり方検討委員会では、生徒が自身の興味関心に応じて部活動を選択し、多くの仲間と取り組む持続可能な部活動を検討している。令和6年度中に、地域移行に向けた環境整備、大会のあり方などについて提言をいただける。それに基づき令和7年度から（仮称）富士宮市部活動協議会を立ち上げ、本市ならではの地域連携、地域移行について検討して行く予定。

問 地域移行実施のタイムスケジュールは。

教育長 令和7年度からの（仮称）富士宮市部活動協議会で、地域連携、地域移行についての実施計画も策定する予定。詳細についてはまだ未定であるが、まずは休日の部活動から段階的な連携・移行を進めていきたいと考えている。



ひらした なおき
平下 尚己
(明和)



公共物の落書きについて

問 道路構造物について、市民が落書きを見つけた時はどのようにすればよいか。

部長 直接手を加えず、施設管理者または警察へ速やかに通報してほしい。その後、市道は道路課が道路管理者として適切な対応をする。

問 防犯カメラを設置してはいかがか。

部長 落書き等の犯罪の再発及び抑制するために効果的であることから検討していく。

問 市民や団体、自治会が落書きを消すことや壁面美化の目的で絵を描くことはいかがか。

部長 むやみに落書きを消すことは施設の損傷や景観悪化を招く恐れがある。美化のために絵を描くことは個別事案として相談を受けたい。

市長 ボランティアの方や警察とも力を合わせて、落書きを撲滅する対応を進めたい。

山宮ふじざくら球技場について

問 南側中央出入口の片開きのフェンスについて、広げる予定はいかがか。

部長 入退場をスムーズに行うため、今年度中に両開きのフェンスに改修をしたい。

問 人工芝のメンテナンスについて。

部長 年1回トラクター方式の大きな回転ブラシによる作業を委託しているが、簡易的な回転ブラシで日常のメンテナンスができる機械の導入を検討しており、芝の劣化を防いで、長くよりよい状態に保ちたいと考えている。

問 キッチンカー等出店スペースにコンセントを整備することはできないか。

部長 指定管理者や出店業者と話し合う機会を持たせていただきたい。





つじむら
辻村
(明和)



支障木の伐採費用を一部助成する制度の創設について

問 支障木の判断について伺う。

部長 建築限界である車道上空 4.5 m、歩道上空 2.5 mの範囲内の通行の妨げとなるもの。

問 支障木の年度別の状況について伺う。

部長 令和3年度、問合せ 152 件、通知 49 件、所有者対応 15 件。令和4年度、問合せ 170 件、通知 79 件、所有者対応 21 件。令和5年度、問合せ 186 件、通知 96 件、所有者対応 22 件。倒木等の処理による小規模修繕は、令和2年度、5 件、令和3年度、29 件、令和4年度、30 件。

問 沿道区域指定の基準を定める市の考えについて伺う。

部長 支障木の対応だけのための条例制定は難しいと考える。



あしざわ
芦澤
(明和)



火山防災について

問 富士山の火山活動の状況について。

部長 富士山の火山活動解説資料によると、現在、富士山の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められないとのことである。

問 富士山が噴火した場合の避難方法について。

部長 溶岩が流れる速度は、傾斜が緩やかな場所では人が歩く程度なので、慌てずに行動することが大切。

問 富士宮市の小中学校の火山防災教育について。

教育長 今後、富士山噴火時等の避難確保計画が策定される予定になっているが、こうしたことも関連付けながら、計画的に火山防災教育が実施できるよう、市校長会、教頭会や関係機関

問 令和6年度から開始された小規模森林整備事業では道路に隣接している森林に対して、通常よりも手厚い補助の取組がなされているが、これまでの取組状況について伺う。

部長 事前相談 34 件、交付決定 19 件、その内道路や河川に接しているため補助率が3分の2に加算された件数は 16 件。また、本制度は森林環境譲与税を活用した事業であるため、道路や河川などの支障木に直接対応するものではない。

問 市道の支障木に対する取組強化を目的とした、道路管理の観点からの伐採費用を一部助成する制度の創設について市の見解を伺う。

部長 財政的な負担、官民境界が確定していないことが多い、樹木管理への責任感が薄れ、依存的な考えが強まる恐れがある。また支障木の所有者に対しては、小規模森林整備事業の交付条件にあたる場所について、合わせて案内をしているところ。その効果を勘案しながら、支障木の助成制度の必要性について検討する。

とも連携しながら対応していきたい。

家庭児童相談室の相談状況について

問 相談件数について。

部長 過去3年間の相談延べ件数は、令和3年度が 7,806 件、令和4年度が 7,699 件、令和5年度が 6,364 件で、年々減少傾向になっている。

問 どういった相談が多く寄せられているのか。

部長 令和5年度の実績では、いじめや不登校の学校生活に関する相談、親子間、夫婦間、兄弟間等における家族関係の相談、経済困窮等の環境福祉に関する相談、この3つが全体の8割を占めている。

問 相談員について。

部長 家庭児童相談室は、係長を含む正規職員 4 名、会計年度任用職員 3 名の計 7 名で相談業務に当たっている。相談員の職種は、保健師、社会福祉士、元教員等となる。



なかの
中野
(明和)

けんたろう
健太郎



富士宮観光でお金を使ってもらうために



改札前
富士宮駅

問 夏季富士登山シーズン限定を含め、JR富士宮駅に土産物売り場を設置してはどうか。

部長 ニーズや営業主体などの課題を整理し、富士宮市観光協会や富士山特産品振興会など関係機関の意見も聞きながら方策を検討したい。

問 高速バス富士宮～東京線の日帰り観光可能な時間帯の運行を再開するよう、事業者に要望してはどうか。

部長 運転手不足などで再開は難しいとのことだが、観光客にとって有効な交通手段。引き続き事業者と意見交換し、働き掛けていく。

意見 今年12月は富士宮～東京線の運行20周年。10周年時に東京・山手線で観光協会が広告を出したようにシティセールスしてほしい。

コミュニティ・スクール（以下、CS）を成功させるための応援を！

問 各CS委員10人以内という規則があるが、複数校で一つのCSを組織する場合を考慮して融通を効かせたルールにすべきでは。

教育長 次年度の成果と課題を踏まえ、今後見直しを図っていく必要がある。

問 国・県の予算縮小で地域学校協働本部の活動予算縮減が懸念される。社会総がかりの体制づくりのため、市独自の予算措置はできないか。

部長 県に粘り強く交渉し、補助金の増額をいただけるところまで

来ている。
部長 予算査定では担当課とのヒアリングの中で考えていきたい。



さいとう
齋藤
(公明会)

かずふみ
和文



防災・減災対策の現状と課題について

問 小中学校危機対応マニュアルの相違について。

教育長 台風、集中豪雨及び地震のマニュアルは市教育委員会から基本を各学校に示し、学校毎で作成しているため大きな相違はない。ただし富士山噴火情報等の対応については、現在見直しを進めており、11月8日の市教頭会にて説明を受けたので、今後学校毎に噴火時等の避難確保計画を作成する予定である。

問 各学校の休校の最終判断は誰が行うのか。

教育長 最終判断は各学校長となる。

問 気象防災アドバイザーの任用について。

部長 気象専門家の知見の活用については有効と考えている。現在県に2人しかいない、雇用自体が困難である。今後民間の気象予報業者へ

の委託なども含め検討していく。

問 土のうの準備と置き場の拡充について。

部長 現在置き場は4か所（市役所・阿幸地交差点・白糸出張所・芝川出張所）である。近年の台風・集中豪雨により必要とする市民が増加しており、4か所では市民ニーズに対応できない。そのため市民の意見を伺いながら出張所等への増設を考えていく。自治会や住民の理解協力を得て、市が土のう袋・砂の提供、自治会で袋詰め、ストックヤードの確保など自助・共助の考えに基づき協力体制を築いていく。すでいくつかの自治会から申出があり進めている最中である。

問 市所有の電気自動車の現状と提携企業との協定の方向性について。

部長 3台の電気自動車を所有管理している。そのうち1台が廃車の方向である。12月下旬に(株)ホンダカーズ静岡様よりゼロカーボンシティの実現に向けて1台寄贈されることになった。具体的な協定については今後協議をしていく。



なかがめ ぎょうへい
仲亀 恭平
(無党派)



**透析患者の不安解消にどう取り組むのか
～透析患者の災害対策に関して富士宮市の
現状と今後の対策～**

問 注意すべきこと。【食事編】

部長 カリウムやたんぱく質、塩分を多く含む食品は控える。水分の摂取については必要量の目安や摂り過ぎに注意すること。

問 どのような体調不良が起こるのか？

部長 水分過多の場合には、むくんだり、水分が心臓や肺などにたまり、肺の病気もしくは心不全等を起こす可能性がある。



問 避難所の食事管理体制は？

部長 保健師が把握・管理する。能登半島地震の教訓を踏まえ、避難者の病歴を把握できるよう対応していきたい。

問 注意すべきこと。【避難所編】

部長 避難所に入る際には、作成される避難者名簿に自身の病状、治療、心身の状況等について記載していただきたい。



問 注意すべきこと。【事前準備編】

部長

- ①避難行動要支援者の登録。
- ②透析カードの携帯。(氏名／緊急連絡先／透析を受けるために必要なデータなどが記載。)災害時に普段とは異なる施設で透析を受ける場合でも、スムーズに透析を受けることが可能。

問 通院している病院が透析不可能の場合は？

部長 市の災害対策本部からふじのくに防災情報共有システムF U J I S A Nを通じて、県災害対策本部への支援要請を行う。



いなば こうじ
稲葉 晃司
(超党派虹の会)



**富士医療圏の630問題に富士宮市はどう立ち向かうのか
～地域医療を守るために2024～**

問 富士市立中央病院では令和6年4月より救急専門医を配置することとなった。その効果は絶大で医療圏を同じくする富士宮市民にとっても朗報。富士宮市立病院への救急専門医の招聘を考える際に課題となることは何か。

病院長 救急外来に救急課医師を配置することによって救急患者の受け入れがスムーズに行われることは疑いのないことであり、市立病院にとっても救急医の確保は重要事項。年に2回ほど浜松医科大学救急災害医学講座教授を訪問し、また順天堂大学静岡病院救急科と連携して医師の派遣をお願いしている。しかしながら、救急科専門医プログラムを先行する医師が非常に少ないことや、医師一人の派遣では医師一人

への負担が大きくなることから、派遣の際にはチームでの派遣となるため、市立病院への派遣は難しい状況。今後も浜松医科大学を含めた多方面への働きかけを行い医師確保に努めていく。

問 市民に私たちは630問題を抱える医療圏域に住んでいるということを理解し、認識して救急車の適切な利用について考えてもらうことや、救急かけはしの登録が救命率を上げ、自らの命を守ることにつながることを理解してもらうことで、効率よく630問題を改善するための政策展開ができると考えるが、市当局の見解は。

部長 救急車の適正利用について、一般救急講習、普通救命講習の中で周知し、消防本部が実施するイベントでも広報を実施している。救急かけはしは登録により、本人の緊急連絡先、かかりつけ医等の情報が得られることで、病院選定の時間短縮につながっている事案もある。



うすい ゆきこ
臼井 由紀子
(富岳会)



人口減少対策・少子高齢化対策について

問 総合計画において令和3年度の改訂で、前期基本計画の反省を踏まえ何を変えたのか。

部長 将来都市像や将来人口等の基本構想は変更せず重点取組の中の重点プロジェクトや7つの基本目標の中の施策や主要事業について見直しを行った。労働環境の改善や雇用環境の整備、地域を担う人材の育成、出会い、結婚の希望の実現や移住・定住人口の拡大など。更に人口減少社会においても行政サービスの向上を図るための行政デジタル化の推進を新たにプロジェクトとして追加した。

問 当市は製造業が主体であるが、若い女性が働きやすいその他産業の企業誘致は。

部長 ICT企業誘致についてはICT化により業務改善を進めたい中小企業がビジネスチャン

スを求め地方への拠点開設を目指す傾向が強いことからオフィス誘致活動と並行してビジネスマッチングイベントへの出展や参加等を行った。業種や職種にとらわれず個性を生かした魅力ある働き方を提供できる社会を目指し地域特性を生かした優良企業の誘致活動に努めている。

マンダン・デウプールとの都市交流について

問 12月9日に締結式、令和7年3月に現地訪問を予定しているがその内容はいかがか。

部長 12月9日に予定していた締結式は昨日ネパール大使からの連絡で、ネパール政府の訪問許可決定が遅れ日本のビザ取得が間に合わず延期の申し出があった。相手方の事情とはいえ非常に残念。締結式では11月に完成した記念碑の除幕式も行う予定であった。3月の現地訪問については改めて詳細が決定したら報告する。

意見 都市提携は市民交流が礎となつての都市交流が本来の形であると思う。行政主体の都市提携であるのなら徹底した事前調査を行うべきである。



もちづき よしまさ
望月 芳将
(無会派)



国道139号と西富士道路の交通状況改善に向けて

問 令和6年7月18日に発生した事故により信号機2基が倒れ、国道139号が上下線とも通行止めとなった。この影響を市はどのように分析し考察しているのか。

部長 この事故により約9時間の通行止めとなり、朝のラッシュ時に下りは富士インター付近まで、上りは外神交差点まで渋滞が発生した。また周辺道路に迂回する車で大規模な渋滞が発生し、市民に多大な影響を与えたと分析している。今後は、正確な情報をSNSや同報無線で発信していく。また長期的には迂回路線としての富士富士宮道路の推進を図っていく。

問 富士市が進めている西富士道路新インター

チェンジの設置に向けた情報収集を行い岳南北部地区幹線道路との接続を考えては。

部長 情報収集については、令和2年から3年にかけて国、県、富士市、富士宮市とで構成される西富士道路新インターチェンジ設置推進部会で検討された候補地の一つが、今回富士市が設置を進めている箇所となり、令和5年に富士市から情報提供があった。今後も情報共有を図っていく。岳南北部地区幹線道路と西富士道路新インターチェンジとの関係は富士宮市と静岡国道事務所が考えることになる。協議しているところである。

外国人目線でのインバウンドへの取り組みについて

問 外国人向けの情報発信や受け入れ体制のサポートなど行う外務省事業であるJETプログラムの国際交流員を活用してはどうか。

部長 県内でも国際交流員の任用があり、費用面では国からの地方交付税の交付対象となり、任用について調査研究していく。



さの かずひこ
佐野 和彦
(富岳会)



富士根地区の耕作放棄地から農業団地へ

問 富士根地区に農業団地を整備し、モデル事業として進めることができないか。

部長 全国的にも事例があるが、ハードルが高く予定はしていない。農業団地ではないが基盤整備事業を予定していたが、地権者の同意が得られず断念した。

市長 農業団地を作るより、産業集積地帯の準備をしていく必要がある。そのために、広い道を造っていくことが、粟倉、杉田、大岩の開発に繋がるのではないかと考えている。

歴史ある神社の継承を考える

問 市内に神社はどの位祀られているか。

部長 市内には317社の神社が祀られている。

問 由緒ある神社の把握はしているのか。

部長 区誌や聞き取り調査で約130社を把握。



すずき ひろむ
鈴木 弘
(至誠)



GIGA スクール構想の現状について

問 改めてGIGAスクール構想の目的を伺う。

教育長 これまでの教育実践とICTのベストミックスを図ることにより、教師、児童生徒の力を最大限に引き出すため、ICT機器を、いつでも誰でも使える環境を整えること。また、児童生徒が教科の学びの本質に迫ったり、探求のプロセスに生かしたりすることを目指している。

問 タブレットの使用頻度を伺う。

教育長 使用頻度は年々高まっている。令和4年、5年度に1人1台端末を効果的に児童生徒の学習に生かす指導方法を、令和5年、6年度に、深い学びを実現するデジタルとリアルとの最適な組み合わせを実践研究する指定校を小中1校ずつ指定し、その成果を市内すべての学校で共有したことによると考える。

問 未来に伝承するための施策は考えられるか。

部長 神社存続の補助金を交付はできないが、古文書など古い資料の整理や、聞き取りを行うなど手伝いはできる。また、神社の歴史を講座や展示会で紹介する時にも、市として協力する。

問 その神社が文化財で、守っていかなければならないとなった場合、市としてどうするのか。

市長 法律で政教分離があるのでやり辛いですが、宗教法人法の登録をしている方々にやってもらうか、最寄りの人に護持会を作ってもらおうくらいしかない。

魅力的な富士宮の祭りを考える

問 こどもの部がなくなった、宮おどりの継承を踏まえ、大人の部にこどもの枠を入れるなど検討してもらうことはできないか。

部長 実行委員会に検討を申し入れる。

問 トイレの数が少ないが、仮設トイレの設置など考えられないか。

部長 近隣に飲食店が少ない一定の空間が必要なため難しいが、実行委員会から働きかける。

問 成果を伺う。

教育長 国語や英語の授業において、スピーチの様子を録画して、観点に沿って自己評価しながら学びを深めたり、生活科や理科の授業では、観察、実験の様子を動画で記録し、繰り返し見ることによって科学的に分析して考察を深めたり、音楽では、ソフトウェアを効果的に活用し、楽器が演奏できなくても課題に即した作曲が誰でもできたりするなど、児童生徒の得意、不得意にかかわらず、ICTを効果的に活用することで主体的に学び、知識や理解を深めたり、技能を習得したり、さらには教科の見方、考え方を広げたりする様子が見られるようになった。

問 タブレットを早くから使った国では、学力低下がおきているという報道があった。富士宮市ではどうか伺う。

教育長 日本では教科書を紙とデジタルを併用している。そのため、近年の全国学力・学習状況調査の結果は、導入前と比較して学力低下の傾向は見られない。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(超党派虹の会)



(仮称) 富士宮市立郷土史博物館基本計画の策定予算を来年度計上にするにあたって

問 建設候補地及び収蔵・研究施設整備についてどう考えているか。

部長 基本構想で示した3か所に加え、中心市街地の市所有地を検討している。今後、候補地が増える可能性もある。収蔵施設は博物館の整備と並行して進める。調査研究施設は博物館に必要な機能なため基本計画に位置づけていく。

問 全員協議会で候補地として挙げた駅前交流センターきらら駐車場を、なぜ具体的な候補地として答弁しないのか。

副市長 きらら駐車場については、市の内部調整もできていない状況。

意見 内部調整もできていないのに、具体的な候補地として名前を挙げるのはおかしい。

問 「市民とともにつくる博物館」であるならば、基本計画策定委員会には公募の市民委員を5人くらい入れたらどうか。

部長 議員の意見を真摯に受け止めて検討していきたい。

人穴小学校PTAから求められている小規模特認校制度について

問 令和7年度から実験的に実施しては。

教育長 令和7年度からの実施はできないが、実現に向けて準備を進めていく。

問 小規模特認校制度の募集を市民に広く知らせることや、通学の不安についてどう考えるか。

教育長 小規模校の良さをオープンスクールのような形でやってみて、不安を解消するためにも時間的な余裕が欲しい。



▲市内どこからでも通える小規模特認校



やまふじ ようこ
山藤 陽子
(公明会)



耳が聞こえにくい高齢者や難聴者に対する窓口業務について

問 窓口への軟骨伝導イヤホン導入について。

部長 現状において、窓口対応等で不都合が出ている状況ではない。聞こえの悪い方への配慮として窓口で引き続き、助聴器を使用する。

問 窓口に、高齢者で耳の聞こえの悪い方に説明プレートを用意することは。

部長 看板については設置の方向で考えていく。

防災教育及び自主防災組織の地域防災力の向上について

問 防災リーダー養成講座を開催し、受講した人を地域の防災サポーターとしてはいかがか。

部長 毎年6月に災害時地域リーダー研修会を開催。約300人が参加。地域の防災サポーターの先駆者として平成14年度から消防団分団長

経験者を中心とした防災指導委員を15名選任し、自主防災組織の活動に支援、実施している。市としても自助力、共助力を高めるために必要な講座について調査研究していく。

市長 城山区長が防災士で、やっぱり中心になる人、防災士がその地域にいるといないとでは、こんなにも違うのかと認識した。各地区に防災士が誕生するように、市としても努力していかなければいけないと痛感した。

問 防災リーダー研修会にイメージTENを取り入れられるか。

部長 イメージTENに限らず、DIG、HUGの図上訓練※は全て対応できるように職員は取得している。今後、しっかり周知して、出前講座や小中学校でも要望あれば対応していく。

※図上訓練とは…防災や減災に関する知識や技能を身に付けるために実施される訓練。地図や見取り図を用いて、災害を具体的にイメージし対応を検討する。



あかいけ
赤池
(明和)

ひろもと
弘源



異常気象による大雨や浸水被害について

問 気候変動に対応した、排水路工事の計画について伺う。



部長 公共下水道事業の雨水渠事業において、令和5年度から令和7年度の3か年で内水浸水想定区域図の策定業務を実施している。この策定業務に併せ、令和7年度に雨水管理総合計画を策定する予定。整備目標を設定し、施設整備方針などを定める計画の策定となっている。今後の気候変動を考慮し、計画雨量の算定は、降

雨量変化倍率の1.1倍を乗じて検討する予定。

東海自然歩道～朝霧高原コースについて

問 麓地区や根原地区のポテンシャルをもっと引き出すような、取組はできないか。



部長 東海自然歩道を使ったイベントとして、マウントフジの100マイルがある。今年4月26日、27日で開催されたトレイルランニングのコースの一部に東海自然歩道が使われた。また、近くのキャンプ場では過去に2回、宿泊キャンパーを対象にしたイベントの実績もある。

意見 今の社会において本物の自然から学ぶということは、非常に価値がある。あるものを大事に守っていただきたい。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)



5歳児健診の実施、障がい者雇用について

問 5歳児健診を実施することについて伺う。

部長 新たにこども家庭庁から、助成事業として任意での実施が示された。実施に向けての課題1点目は医師の確保が難しい。2点目は実施場所と実施方法。3点目は事後フォロー体制である。関係機関との協議を継続し、早期の実施に向けて検討を進めていく。

問 市役所の障がい者雇用について。

部長 本市の障がい者の実雇用率は3.12%であり、法定雇用率を大幅に上回っている。活躍推進計画を策定し、障がい者職業生活相談員である人事課職員が中心となって推進している。

投票率及び期日前投票所の投票時間を延長することについて

問 投票率の現状を伺う。

部長 平成24年の選挙は投票率58.85%、県内順位は49開票区中44位。平成26年の選挙は54.77%、49開票区中36位。平成29年の選挙は53.01%、49開票区中43位。令和3年の選挙は47.95%、49開票区中49位。令和6年の選挙は51.21%、41開票区中39位である。

問 期日前投票所の投票時間の延長について。

部長 現体制を維持していく考えだが、選挙管理委員会の委員には、議員から一般質問において提案があったことを伝え、検証、検討する。

市街化調整区域に公園やグラウンドをつくることについて

問 市街化調整区域における公園整備は。

部長 市街化区域内に整備する都市公園と比較すると、多くの手続や様々な調整が必要。

問 グラウンド（スポーツ広場）整備は。

市長 市内に6か所あり、そのうち5か所が市街化調整区域にある。現在所有しているスポーツ広場を維持管理していく考えで、新たなスポーツ広場を整備する予定はない。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(超党派虹の会)



女性議会の開催について

問 子育て世代などの女性たちの生の声を市政に反映できる女性議会の開催はできないか。

部長 男女共同参画を進める中において女性だけを対象とする女性議会は考えていない。

意見 前例より前進。他でやらないから富士宮市でやる心意気でやってほしい。

農業公社の設立について

問 農業の担い手不足や耕作放棄地の拡大抑制に向け、市独自の農業公社の立ち上げを提案。

部長 考えていない。富士宮市だけの問題でなく全国的な課題。各機関と連携して対応。

問 食糧危機も来る。今後30年に農業従事者は36万人。日本は戦わずして負けてしまうのに他の市町村にできて富士宮市にできないのはどこかが違うのか。

部長 農業公社やJAふじ伊豆もやっている。行政窓口もしっかりやり、3者が機能している。

防災対策について

問 生活用水確保のため静岡市が令和6年度導入した井戸掘削費補助金制度や市民や企業を対象にした災害時協力井戸登録事業を早急に導入すべきと提案するがいかがか。

部長 地震による地殻変動や個別の水質検査などがあり、安全安心を確保できないため、今のところ導入は考えていない。

問 自主防災会で何百万円もする防災井戸を設置することは無理だと思うので、小中学校に市の負担で防災井戸を設置できないか。

部長 取水施設や、取水量、配水池もあるので心配はいらない。当市は東西南北から支援も来る。修繕もしやすい。能登半島の判断基準を富士宮市に当てはめるのは不適切。

意見 富士宮市は水が豊富だと言って安心して水を地震の時に取り出す術がなかったら、ないに等しい！水は命ですので進めてほしい。

2月定例会の予定 2月10日(月)～3月19日(水)

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----|---------------------|---------------------|---------------------------|------------|-------------------|-----|
| 2/9 | 10 開 会 施政方針 | 11 | 12 | 13 議案審議 | 14 総務文教 委員会 | 15 |
| 16 | 17 環境厚生 委員会 | 18 産業都市 委員会 | 19 議会運営 委員会 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 議会運営 委員会 | 3/1 |
| 2 | 3 代表質問 | 4 代表質問 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 予算審査 特別委員会 | 11 予算審査 特別委員会 | 12 | 13 | 14 一般質問 | 15 |
| 16 | 17 一般質問 | 18 一般質問 | 19 一般質問 議案審議 閉 会 | 20 | 21 | 22 |

◆定例会開催中以外にも、全員協議会、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。
◆日程は変更になる場合があるため、間近になりましたら議会事務局にお問い合わせください。TEL:0544-22-1191
インターネット中継でも視聴できます。是非ご利用ください。





表紙の説明 & 作者高校生紹介

今回号の表紙は、富士宮高等専修学校に作成していただきました。次号(6/1発行)は市内で活動する団体に作成を依頼する予定です。乞うご期待ください!!

表紙作者紹介



▲山鹿 春音(やまが はるね)さん

本校では毎年秋に「宮ウォーク」という行事があり、地元の良さを発見するため、学校から歩いて行ける観光地を訪れます。その途中「浅間大社」に立ち寄りました。その日はお天気も良く、朱色の美しい社殿の前で、友人と写真を撮った思い出があります。今回のデザインはその時のイメージを作品にしてみたいと思いました。

作成は選択授業の「アニメ研究」で活用している、アイビスペイントというアプリを使用してスマホ上で完成させました。本校らしい個性的な作風に仕上げたつもりです。

題字「笑顔のために」作者紹介



▲小澤 莉緒花(おざわ りおか)さん

書道の授業では縦書きの課題しか書いたことがなかったので、今回の「笑顔のために」は横書きということで全体のバランスを整えるのに苦労しました。何度も何度も書き直し、最後にやっと納得がいく作品に仕上がりました。



議会に一言

富士宮市は富士山という世界に誇れる観光資源がありますが、その恩恵を十分に活用していないと思います。富士山を中心とする観光都市として未来を考えてみてはどうでしょうか。



校風紹介(学校紹介)

こんにちは、富士宮高等専修学校です。

本校の合言葉は「やればできる!」です。勉強は苦手でも頑張る努力することを大切にしています。

卒業時には連携する高等学校の卒業資格を取得することができ、高校の普通教科及び情報(コンピュータ)の専門科目を学習しています。

週に2回の選択授業では、スポーツやダンス、軽音楽やものづくりなど様々な分野の授業を選んで活動しています。

議会に一言へのお返事と編集後記

山藤 陽子 委員

富士宮市の未来にむけて、ご提案、本当にありがとうございます。

2024年2月14日に世界的な宿泊予約サイトブッキングドットコムが行った「アジア太平洋地域の旅行者が注目する旅行先」の調査で、富士宮市が世界4位にランクインされたと喜ばしいニュースが発表されました。当市では「訪れる人に感動を与えるおもてなしのまち」を目標に、富士山を生かした新たな観光企画づくりに努めています。

若い世代の自由かつ大胆な発想を聴かせていただき、議会だより編集委員会として、行政に皆様の声を繋げていきたいと思ひます。



笑顔のために

NO.437 令和7年2月1日発行

【編集発行】議会だより編集委員会

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248
E-mail c-jimmu@city.fujinomiya.lg.jp